

市政のここが聞きたい

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。

スマートフォンをお持ちの方は、氏名の下QRコードを専用アプリで読み取ると、それぞれの録画映像がご覧いただけます。

質問項目一覧 (通告順)

<p>○ 仲田 稔 ①原郷上野台線について</p> <p>○ 中矢 寿子 ①改正バリアフリー法への取り組みについて ②介護予防事業について</p> <p>○ 五間 くみ子 ①市における自治会の役割は ②教育行政について</p> <p>○ 鈴木 三男 ①国民健康保険税について ②市道の整備について ③臨時財政対策債について ④同和行政について</p> <p>○ 田口 英夫 ①幡羅官衙遺跡について</p>	<p>○ 角田 義徳 ①原郷上野台線について ②岡部地域の発展に向けて</p> <p>○ 富田 勝 ①花園IC拠点整備プロジェクトについて ②ふかや市商工会との連携について</p> <p>○ 石川 克正 ①行財政について</p> <p>○ 佐久間 奈々 ①深谷市歌を防災無線で流すことから考えられる行政と個人のあり方について</p> <p>○ 清水 修 ①放課後児童健全育成事業について ②地元農産物を学校給食に ③指定管理者制度について</p>	<p>○ 村川 徳浩 ①新川本公民館の建設について ②原郷上野台線アンダーパスについて ③消防ポンプ車の入札について</p> <p>○ 田島 信吉 ①川本公民館複合施設建設地について</p> <p>○ 三田部 恒明 ①消防行政</p> <p>○ 清水 健一 ①働き方改革への対応について ②花園地区インフラ整備について ③公共施設適正配置について</p>
--	---	---

なぜ、この時期に原郷上野台線に着手するのか

A 整備効果の早期発現や区画整理の完成に向け着手するのか

市内の都市計画道路は、国県道も含めると42路線あり、未着手は西通り線など、市道で7路線ある。

仲田 稔



Q 原郷上野台線以外に市内に都市計画決定された道路は、何路線あるのか。

A 市内の都市計画道路は、国県道も含めると42路線あり、未着手は西通り線など、市道で7路線ある。

Q なぜこの時期に原郷上野台線なのか、他の道路との整合性はどうか。

A 原郷上野台線の全線開通による整備効果の早期発現や国済寺土地区画整理事業の完成も視野に入れ、この時期に着手する必要がある。

Q 都市計画決定が昭和38年3月22日、最終変更が平成23年3月25日とあるが、最終となると変更の余地はないように聞こえるが、意味はあるのか。

A 原郷上野台線の都市計画決定は4回変更していることから、直近、最後の変更という意味で表現をした。

Q 電光掲示板、バルーン式自動遮断機を設置することだが、豪雨時に冠水により利用できないことも想定され、また、車両の水没による



電光掲示板、バルーン式自動遮断機 設置イメージ

A 雨水排水や通行止め対策等、安全に努めていく。

Q 降水に備えてポンプ3台を設置することある。防災対策としての年間の維持管理費も予想されるがいくらかかるのか。

A 現段階では、算出していない。

改正バリアフリー法に対する今後の取り組みは

A 今後の国からの情報に注視しつつ対応していく

中矢 寿子



Q 改正バリアフリー法の成立により努力義務として求められている基本計画の策定だが、パラリンピックメダリストを生んだ深谷市として、「人に優しい街づくり」をアピールするような条例整備をしようか。

A 改正バリアフリー法は、公布間もないこともあり国から具体的策定方針は示されていない。今後の情報に注視しながら調査研究していきたい。

Q 現在は毎年50人程度を目標に養成することにも、スキルアップ等による質の向上も図っていききたい。

A 現在は71名が市内全域で活躍中。事業だったことから平成28年度より「通いの場」として活用開始した。

Q サポーターの人数や今後の養成計画について聞きたい。

A サポーターの人数や今後の養成計画については、自治会に限らず「通いの場」を各種団体にも広げていってほしい。

Q それも一つの案かと考えている。

自治会の現状を踏まえ、庁内検討を

A 庁内関係部署、関係団体を含め、話し合いをしていく

五間 くみ子



Q 現在の自治会加入状況は。

A 本年4月現在加入率は73・0%である。

Q 現状の課題と市の見解は。

A 構成員の高齢化、組織の担い手の確保など大きな課題となっている。近年の自然災害が多発している状況下で、地域コミュニティの重要性・必要性は再認識されており、その核となる自治会の支援を積極的に推進する必要があると考えている。

Q 市が求める自治会の役割は。

A ささまざまな活動を通して、地域コミュニティの核として重要な機能を果たしている。また、高齢者の見守りや防犯パトロールなど、自治会は市と地域を結ぶ重要なパイプ役である。

Q 自治会の役割は多岐に渡っており、それらは増加傾向で、自治会によっては負担である。市は、自治会の重要性を認識しているが、その一方で課題は個々の自治会内で解決すべきと捉えていないか。自治会が大切なパートナーであるならば、全庁挙げて自治会が担う役割について検討を始めるべきと思う。

A 自治会の実情を把握し、庁内関係部署や関係団体と話し合いをしてまいりたい。

Q これまでの介護予防事業の取り組みではなく、各地で成果報告されている「フレイル予防」を導入してはどうか。

A 今までの介護予防事業は社会参加という側面が若干希薄だった。埼玉県が推進していたモデル事業が、フレイル予防の3要素を取り入れた



化粧室 Restroom

Q 公民館の分館としての根拠は。

A 社会教育法・深谷市公民館条例で位置付けている。

Q 具体的事業は。

A 体育祭、公民館祭り、分館対抗のスポーツレクや家庭教育学級等の文化事業である。



分館対抗の体育祭